

運用自動型 低遅延パケット伝送システム

ワンフィニティ

FUJITSU Network 1FINITY Sブレード

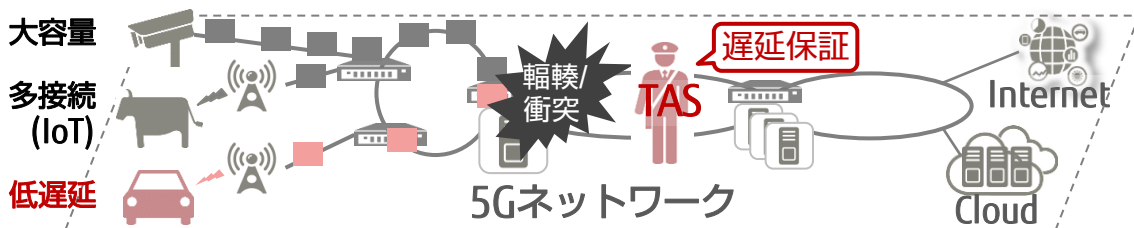
先進技術

参考出展

お客様のメリット

- より簡単に**ストレスフリー**で低遅延ネットワークの構築が可能
- 設定・運用コストを**劇的に削減可能** (約1万分の1 (導入期間：数カ月→数分))

様々なトラフィックが混在する5Gネットワークにおいて、低遅延を実現する技術としてTAS^{*1}が注目されています。TASはパケットの読み出しタイミングを制御することにより遅延を保証する方式であり、タイミングを最適化すれば遅延を最小化する事も可能です。これには、通常手動設定が必要ですが、当社TAS方式はスイッチ自身がトラフィックパターンを学習し、タイミング設定を行うことにより簡単に最適化を実現します。本技術は、順次1FINITY Sシリーズに導入していく予定です。 **特許出願済** 16-03005JP0



標準TAS方式

✓ テーブル最適化には**手動設定**が必要だが、タイミング調整が極めて困難

事前把握
トラフィックパターン
時刻同期
手動設定
TAS設定テーブル
AS設定テーブル
TAS設定テーブル

当社独自TAS方式

✓ 主信号からタイミング情報を自動取得し、スイッチ自身がテーブルを**自動設定**

自動取得
トラフィックパターン
学習・分析
独自TAS
自動設定
TAS設定テーブル
時刻同期不要

*1 : Time Aware Shaper (IEEE802.1Qbv標準)

※本資料中、**特許出願済** 表示箇所については特許出願済の技術を含みます。

商品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通公開サイト <http://www.fujitsu.com/jp/> 詳細はこちら <https://www.fujitsu.com/jp/products/network/carrier-router/photonicnetwork/1finity/1finity-s/>